

令和3年度(2021年度)

管理事業名	障害者支援交流センター事業			総合計画の体系	大綱 3 福祉・健康 政策 2 障がい者の暮らしを支えるまちづくり 施策 1 生活支援など暮らしの基盤づくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 3	民生費	(項) 1	社会福祉費 (目) 11 障害者支援交流センター費
部局名	福祉部	予算執行所属	障がい福祉室		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
障害者支援交流センター事業					
事業の目的と概要 重度障がい者の自立と社会参加を支援するとともに、市民相互の交流を図ります。 生活介護事業では、常時介護が必要な身体障がい者・知的障がい者に対し、医療的ケアや、身体機能又は日常生活能力の維持・向上を図るために必要なサービスを提供しています。 また、短期入所事業では、身体障がい者・知的障がい者が介護者の疾病等により一時的に居宅で介護を受けることができない場合に、施設において必要な介護サービスを提供しています。 他に、市内の障がい者団体等への会議室等の貸館及び市内の障がい者へのプール並びに介助浴室の開放を行う一般開放事業のほか、ボランティア育成、地域交流や障がいの啓発を行っています。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
障害福祉サービスの提供数	人	13,725	12,464	12,166	生活介護事業及び短期入所事業における年間延べ利用者数
延べ利用者数	人	7,422	0	0	一般開放事業における年間延べ利用者数
成果の説明	令和3年度においては、新型コロナウイルスの感染予防策を徹底しながら、生活介護事業では延べ9,778人に、短期入所事業では延べ2,388人に対しサービスを提供しました。 なお、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、一般開放事業及びボランティア育成については中止しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	201,855	148,930	184,264	35,334
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	105	147	-	△147
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	3,976	6,078	3,998	△2,079
経常収入 小計(a)	205,936	155,154	188,262	33,108
給与関係費	21,400	21,221	23,175	1,954
物件費	387,359	380,786	383,401	2,615
維持補修費	5,878	9,311	77,167	67,856
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	9,097	9,614	11,269	1,655
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	58,765	60,151	62,236	2,086
徴収不能引当金繰入額	△908	△23	-	23
賞与引当金繰入額	540	855	753	△101
退職手当引当金繰入額	△2,461	3,365	463	△2,902
支払利息	2,576	800	-	△800
その他	-	-	4	4
経常費用 小計(b)	482,246	486,080	558,468	72,388
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△276,310	△330,926	△370,206	△39,280
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	0	0	0	△0
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	0	0	0	△0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△0	△0	△0	0
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△276,310	△330,926	△370,206	△39,280
一般財源充当額	337,301	339,447	256,263	△83,184
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	60,991	8,521	△113,943	△122,464

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
維持補修費	外壁改修工事(70,413千円)、経年劣化に伴う設備機器の更新及び建物等修繕(6,754千円)
使用料及び手数料	生活介護及び短期入所に係る障害福祉サービスの介護給付費収入33,692千円の増、生活介護事業及び短期入所事業職員処遇改善加算金収入1,605千円の増
物件費	生活介護事業及び短期入所事業運営委託料(306,829千円)、保安・警備・清掃委託料(29,011千円)、維持管理・点検委託料(18,799千円)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	206,210	155,462	188,224	32,761
行政サービス活動支出	427,575	423,032	496,502	73,470
行政サービス活動収支差額	△221,365	△267,570	△308,278	△40,708
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	1,231	3,069	66,283	63,214
投資活動収支差額	△1,231	△3,069	△66,283	△63,214
財務活動収入	-	-	122,100	122,100
財務活動支出	114,705	68,808	3,802	△65,006
財務活動収支差額	△114,705	△68,808	118,298	187,106
収支差額 合計	△337,301	△339,447	△256,263	83,184
一般財源充当額	337,301	339,447	256,263	△83,184
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	内容
中央監視装置改修工事(37,039千円)、空調設備更新工事(25,994千円)、特殊介護浴槽1台の更新(3,249千円)	

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
開所1日あたりのコスト	令和元年度	359 日	1,343,303 円	前年度と比較して、開所1日当たりのコストが201,638円増加しています。主な理由は、障害者支援交流センターの外壁改修工事(70,413千円)を行ったことに伴う、経常経費における維持補修費の増加によるものです。
	令和2年度	359 日	1,353,983 円	
	令和3年度	359 日	1,555,621 円	
利用者1人あたりのコスト	令和元年度	21,147 人	22,804 円	前年度と比較して、利用者1人当たりのコストが6,905円増加しています。主な理由は、上記の指標「開所1日あたりのコスト」と同じです。また、令和2年度及び令和3年度のコストは、一般開放事業の中止に伴う利用者数の減により、一時的に大きく増加しています。
	令和2年度	12,464 人	38,998 円	
	令和3年度	12,166 人	45,903 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	4,656	4,555	△101
未収金	645	650	5	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	855	753	△101
徴収不能引当金	△46	△17	29	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	3,802	3,802	-
有形固定資産	2,995,734	2,997,205	1,471	その他流動負債	-	-	-
土地	1,279,972	1,279,972	-	固定負債	21,950	140,075	118,125
建物・工作物	1,697,723	1,702,996	5,273	地方債	-	122,100	122,100
リース資産	18,040	14,238	△3,802	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	7,712	7,539	△173
無形固定資産	76	76	-	リース債務	14,238	10,436	△3,802
インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	26,606	144,630	118,024
建物・工作物	-	-	-	純資産	2,974,191	2,860,248	△113,943
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	6,965	6,965
重要物品	4,389	6,965	2,575	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	3,000,798	3,004,878	4,081
資産の部合計	3,000,798	3,004,878	4,081	負債及び純資産の部合計	3,000,798	3,004,878	4,081

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

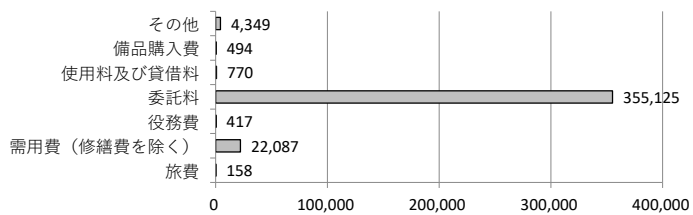
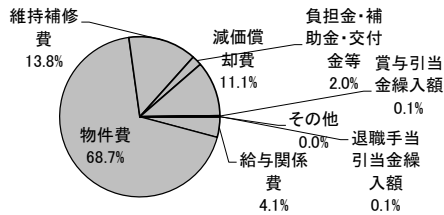
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	1.3人	686日	0日	24,391
給与関係費等	12,000千円	12,392千円	0千円	
内、時間外勤務手当	1,540千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
地方債	外壁改修工事並びに中央監視装置及び空調設備の更新工事の経費に係る起債をしたため
建物・工作物	中央監視装置改修及び空調設備更新による資産価値の増が、減価償却費を上回ったため
重要物品	特殊浴槽1台の更新による増

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	障害者支援交流センター
取得年月日	平成13年(2001年)2月1日
建物・工作物の取得価額	2,914,933 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,211,938 千円
利用料金収入	184,264 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率	0.2	0.3	2.6	2.3
施設老朽化比率	38.5	40.5	41.6	1.1
受益者負担比率	41.9	30.6	33.0	2.4
徴収不能引当率	7.2	7.2	2.6	△ 4.6
一般財源充当比率	62.1	68.6	45.2	△ 23.4
経常費用対公共資産比率	16.9	17.0	19.2	2.2

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

ソフト面の分析として、経常経費の68.7%が物件費であり、当該物件費の9割以上を委託料が占めています。これは、生活介護事業及び短期入所事業の運営委託によるものが大きく、当該委託料は、306,829千円になります。
ハード面の分析として、施設老朽化比率の上昇率が前年度比で1.1%であり、令和2年度の上昇率2%と比較して若干抑えられました。これは、令和3年度に中央監視装置及び空調設備の更新工事を行ったことによるものと考えられます。
なお、施設の建築から20年以上経過しているため、施設老朽化比率は今後も増加が見込まれます。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

前年度の評価時において、今後も増加が見込まれる医療的ケアを必要とする重度障がい者の受入体制の検討を課題としていましたが、施設の運営方法を見直し、受入れの促進や施設の有効活用などを目的として、令和5年度から指定管理者制度の導入を予定しています。
施設の老朽化に伴って、維持補修費等が今後も増加するものと考えていますが、財源確保も含めて計画的な修繕及び設備等の更新を行う必要があります。
生活介護事業及び短期入所事業の給食材料費等の徴収について、今後も継続した債権管理を行う必要があります。